

名古屋文理大学 / 名古屋文理大学短期大学部 / 名古屋文理栄養士専門学校



先端技術を活用して、 新しい発想で企業を 支援したい。

岐阜県大垣市にある約150社が集積するIT拠点「ソフトピアジャパン」で、公益財団法人の職員として広報業務やイベントの企画・実施、ワークショップやセミナーの講師などを行っています。これまで大学や大学院、研究所などで培ってきた研究や開発の経験を生かし、特にIoTやロボットなどの先端分野を担当。新しい発想で先端技術の普及拡大や開発者コミュニティの形成に取り組んでいます。

その一つとして、昨年9月にはロボット開発に興味のある人たちを集めて「大垣ロボットハッカソン」を開催。私自身も参加して、「ロボットの最小限の要素とは何か」という根本となる原理を追求した結果、スマホケース型のロボットを開発し、審査員特別賞を受賞しました。

大学時代にゼミの先生から「いつの時代も変わらないのは数学だ」と言われたことをよく覚えています。情報分野はものすごいスピードで変化しますが、その根本となる「原理」の重要性を考えるきっかけとなりました。

**その常識は本当に常識なのか。
自分の中でもう一度、考えて判断する。**

大学では一心にプログラミング技術の向上に努めました。情報メディア学科は自由なところが魅力でしたね。ゼミの先生は毎週のように異なる分野のプログラムに取り組んでいたため、自由な発想のもと幅広い技術を学べたこと、技術の基礎をしっかりと磨きあげられたことが自分の大きな資産になっていると思います。

また、大学4年のときには、ソフトピアジャパンで開催されていた「モバイルカフェ」に参加し、プログラマーとして活躍する人たちと交流して様々な刺激を受けました。今は自分が企画側の中心メンバーとなってイベントを開催していることを思うと感慨深く、長く語り継がれるようなイベントを企画しなければいけないと責任も感じています。

「その常識は本当に常識なのか」。世間で常識と考えられていることも、もう一度、自分の中で考えてから判断するようにして、他にはない新しい発想で仕事に取り組んでいきたいです。

活躍する卒業生 **第8回**

公益財団法人ソフトピアジャパン
企画広報グループ

石郷 祐介

Yusuke Ishigo

名古屋文理大学
情報メディア学科 平成22年度卒

**業務
内容**

岐阜県内における情報産業の振興を目的に、先端技術の普及啓発、開発者コミュニティ形成のためのイベントの企画と実施、技術セミナーやワークショップの講師などを行っています。



企画広報グループのオフィスがあるセンタービルを背景に、上司の木寺チーフと。



Pepperのロボアプリ開発拠点として公認サテライトに認定される「ファブコア」にて。

これからも信頼される 専門家を育てるために

現在学内では以下の二つの試みを模索中です。広報誌「ぶんり」をご愛読の皆様にもぜひその内容を知って頂きたいと思ひます。

私たちは長く「食・栄養・情報」の教育に関わって参りました。これらをベースにした新たな試みとして、NST(チーム医療)で即戦力となる修士(学位)を持った管理栄養士を育てたいと考えています。国家試験合格直後にNSTで活躍できる卒業生は稀なのが現状です。この差を実践型の大学院で満たし、臨床現場での差し迫ったニーズに応えたいと思ひます。入学者に求める能力、先端経験豊富な教員の配置、さらに実習先や就職先の確保、これらが整った時が開設のタイミングだと考えています。

また社会人に向けた「新しい学び方」の提供がもう一つの課題です。日本の大学生の平均年齢はおよそ23歳、しかし西欧の

大学生の平均年齢は20代後半です。経済的な事情で進路を諦めざるを得なかったり自分の適性を見極めるために迷うことはよくあることです。しかし日本の社会はタイミングを逃した者に対して決して寛容ではありません。紆余曲折をバネにした視野の広い専門家が生まれる芽を摘んでいる可能性が有るのです。入学の条件が整いやる気に満ちた人が何時でも大学に戻って来られる仕組みが求められているのです。

本学には、既に長期履修制度(長期計画によってゆっくり卒業)や、科目等履修生制度(科目ごとの単位取得が可能)、聴講制度(専門教育を聴講できる)などがあります。また昨年よりSJ(スチューデントジョブ)制度が始まりました。ここで学校と就職先との連携を深めつつ、社会人により安定した学び方を提供したいと思ひます。目指すのは



学校法人 滝川学園
学校法人 名栄学院
理事長

滝川 嘉彦

「働いたり学んだりを繰り返すことができる大学」の実現です。

こうした新しい専門家養成の道を開拓しつつ、私たちはこれからも「世界から信頼される専門家を育てる場」で有り続けたいと思ひます。変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。

名古屋文理の伝統

今年が名古屋文理の大学、短大、専門学校の創立60周年記念の年となります。本学は名古屋栄養専門学校として昭和31年(1956)に開学したのが始まりとなります。当時、栄養士養成施設は東海地区でも数校でした。その後、名古屋栄養短期大学が昭和41年(1966)に開学し、栄養士養成の黄金時代を迎え、養成施設も増加していく状況でした。私は、若い頃に私立高校で生物学の非常勤講師をしていたことがあります、その時に女子生徒にどこに進学

するのかと聞いた時に、「名古屋栄養短期大学に行く。栄養では名古屋が一番だ。」と答えたのを鮮明に覚えています。あまりにも断言的な言い方だったので、私もこの時に名古屋栄養短期大学の名前を覚えてしまいました。栄養なら名短短というのは、高校では定着したイメージだったようです。

このような「誰もが知る」名古屋文理の伝統は、これからも守っていききたいと思ひます。



名古屋文理大学
名古屋文理大学短期大学部
学長

景山 節



名古屋文理大学 副学長
健康生活学部部長

山田 ゆかり

ウチの芝生も青い

いま、大学本館二階の部屋からは、眼下いっぱい芝生広場が広がっています。南館の跡地を整備したものです。日差しに鮮やかに輝く様を見ていると、この創立60周年の「還暦」のタイミングで、南館と新しい芝の命との交代をひとつの象徴のように感じます。芝生は現在まだ「養生中」ですが、近い将来、学生、教職員の、また、同窓生の皆様にとっても憩いの場になることでしょう。

待望のFLOS館が完成し、学生ホールは広く明るくなりました。食堂としてはもちろん、学生たちが遅くまで自習したり、自治会やサークルの活動場所として活用され、キャンパス内に新しい人

の流れができました。キャンパス全体の雰囲気も明るく柔らかくなってきたと感じます。

今春、大学は253名と定員をわずかに上回る新入生を迎えました。早々に大学生活に慣れ元気に過ごしています。前年から2ヶ月前倒しとなった企業の採用活動に影響されることなく、内定状況は好調です。

となりの芝生は青いといいますが、名古屋文理大学の芝生もだんだんと青さを増してきました。同窓生の皆さんにいつでも安心して訪ねていただけるよう「いつもここにある」母校であり続けたいと思ひています。

TOPICS

稲沢キャンパス 南館跡地を整備しました。

平成27年に竣工した新校舎「FLOS館」に続く稲沢キャンパスの整備計画として南館の解体工事と中庭の整備を行いました。4000㎡を超える南館解体跡地には全面に芝生を張り、来年4月には学生に開放する計画です。また、跡地の南側には新クラブハウスを新設。中庭を教職員用駐車場として整備しました。新クラブハウスは現在、学生自治会および17サークルが使用しており、サークル活動の拠点として活用されています。

なお、解体した南館の外壁タイルを使用したメモリアルプレートの設置および記念樹の植樹が開学60周年を記念して行われました。



1.クラブハウス
2.駐車場

テレビCMがACC地域ファイナリストに選定。



本学のテレビCM(教授と私)が、一般社団法人 全日本シーエム放送連(ACC)主催の2016 56th ACC CMFESTIVALにてACC地域ファイナリスト(北陸・中部地域テレビCM部門)として優秀と認められ表彰されました。教授と私編は、学生が開花するということを表現した、ユニークでインパクトのあるCMとなっております。名古屋文理大学HPトップページの紹介ビデオからもご覧いただけます。

60年の感謝とこれから

名古屋文理の淵源である栄養専門学校は開校60周年目となります。この晴れがましい節目の年を迎えるにあたり、創設者 滝川一益先生を始め、開校当時の方々の不屈の魂に深く心を動かされています。日本社会が戦後の食糧難から急激に高度成長していく中で、「健康的な食生活の維持」が人の育成や幸福感につながると考えた先見の明は秀逸でした。昨今、栄養士養成を目指す学校が増加傾向にあるのは、この先人たちの成功があるからこそでしょう。今も各方面で活躍している同窓の諸先輩方は私たちの誇りです。

さて本校では、60年目の今期に西館に書籍コーナーを併設した多目的ルーム『ACTIVE

CROSS』が開設され、学生の学修活動の一助となることが期待されています。また、27年度末には10年連続就職率100%を達成しました。これは、多様性をもった特徴のある教育にご理解をいただいた学内外の多くの方々のご支援によるものと深く感謝致しております。校舎は色あせて歴史を感じますが、学生たちの学ぶ姿勢は開校時と変わらない懸命さがあり、このことをさらに多くの人に知っていただければと思ひます。

今後も実社会の変遷に応じて必要とされる人材育成を推進していききたいと思ひます。変わらぬご厚情を賜りますよう心よりお願ひ申し上げます。



名古屋文理栄養専門学校
校長

滝川 桂子



稲沢市民会館のネーミングライツを取得、2013年4月より「名古屋文理大学文化フォーラム」の名前で親しまれています。

平成28年11月19日(土)、滝川学園と名栄学院の創立60周年を記念して、稲沢市にある「名古屋文理大学文化フォーラム」にて記念式典と記念コンサートを開催。式典には大学関係者など約100人にご列席いただきました。永年勤続者表彰として、勤続40年、30年の教職員を表彰。産学連携などで協力関係にある企業や組織に感謝状の贈呈などが行われました。



式辞
理事長 滝川 嘉彦

添い寝をするように大切に、学生を社会人として立派に育てることを意味する「しとねる教育」が最大の使命。本学の人と人とのつながりの深さの根底には、お互いへの感謝の心があります。本学を支えてくださる皆様への感謝の心を忘れず、これからも地域に愛される教育機関を目指してまい進して参ります。



挨拶
学長 景山 節

本学の原点となる「食と栄養」に加え、「情報」が教育研究の3つの柱となっています。「食」と「栄養」は人が生きていく基本であり、「情報」はコミュニケーション手段として重要となるものです。「学問を通して知識技術を磨く」という立学の精神の実践により、これからの日本を支える若者を育成し、使命を果たして参ります。

永年勤続者表彰

本学の教育振興に尽くした教職員の功績を称え、永年勤続者表彰が行われました。

■ 永年勤続表彰者 勤続40年6名

芳本信子、佐藤生一、松田康子、濱田義和、加藤治美、石田和夫(順不同、敬称略)

■ 永年勤続表彰者 勤続30年11名

小田良子、加藤恵子、森博、伊藤美春、犬飼啓詞、山内眞佐子、弦間喜永、三浦英雄、近藤みゆき、松田秀人、高羽美鈴(順不同、敬称略)



感謝状贈呈

多年に渡り、本学の発展に貢献された一宮商工会議所、稲沢商工会議所、株式会社昭和、タニザワフーズ株式会社に感謝状が贈呈されました。



来賓祝辞
稲沢市教育長
恒川 武久 氏



謝辞
一宮商工会議所 専務理事
中神 優 氏

祝辞

名栄会 会長
宮澤 節子



～思い出から未来へ～

学園開学60周年、おめでとうございます。昭和31年に国民の栄養状態を憂い創設された「名古屋栄養」に始まり「名古屋文理」と校名の変更はありましたが60年間一貫して「食と栄養」の教育展開の中で私は学生・教員として種々の場に関わる事、48年間を学園とともに歩ませて頂きました。現在、同窓会会長として微力ながら開学当初の「名栄」の名称を繋いで「名栄会」の歴史(特に名簿)を整理し会の進展に寄与するため理事とともに名栄学院・滝川学園に関わっております。

創設者滝川一益先生から直昭先生、現在の嘉彦先生と代々受け継がれてきた「学園魂」は確実に、現代・未来の社会を見据え進化しています。その歴史の中で名栄会は開学当初の栄養専門学校栄養士科及び調理師科、短期大学食物栄養科及び専修科・生活科学科・介護福祉学科の卒業生で成り立っています。

先日卒業生の同期会に懐かしい文を目にしました。一益先生が専門学校7回生の同期会に送られた言葉です。学園の教育理念は立学の精神にあります。この文章には学園生活と学生の具体的な教育現場が目に見えるように感じました。ここに紹介させていただきます。これからも名栄会は卒業生の支援に加え在学生の課外活動の支援を続けさせていただきます。

この先の名古屋文理が「健康・栄養・食そして情報」を柱に、社会のニーズに根差した教育と大学の学問資産を公開し社会貢献の任を果たされ更なる飛躍を心より祈念し祝辞とさせていただきます。

思い出のセブン

いつのことか 思い出してごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
うれしかったこと おもしろかったこと
いつになっても忘れない

春のことです 思い出してごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
希望に燃えて 夢を語り
友情の輪のハイキング

夏のことです 思い出してごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
臨地実習 小学校・病院・保健所
いろいろ回ったよ4週間

秋のことです 思い出してごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
サークル発表 球技大会
楽しく過ごした 学生会(学園祭)

冬のことです 思い出してごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
授業で作った サンタのケーキ
子供にプレゼント クリスマス

いちねんじゅうを 思い出してごらん
あんなことこんなこと あったでしょう
さくらの花も きれいに咲いた
友は人生の 花でしょう
(滝川一益学院長 談)

創立60周年記念コンサート

小原 孝 with 高橋 誠 vs jammin' Zeb



来場者に向け挨拶する滝川理事長

式典終了後、引き続き名古屋文理大学文化フォーラム大ホールにて記念コンサートを開催しました。コンサートでは、ピアニスト小原孝、ヴァイオリニスト高橋誠、ヴォーカリスト集団jammin' Zeb(ジャミン・ゼブ)の3組のアーティストがコラボレーション。校歌「文理賛歌」を取り入れた特別なプログラムで創立60周年を華やかに祝福しました。



大学関係者をはじめ、地域の皆様、ファンの皆様など、多くの方にご来場いただきました。

祝辞

稲友会 会長
徳永 眞司



この度、学校法人滝川学園が創立60周年を迎えられましたことを、名古屋文理大学同窓会・稲友会を代表して心からお祝い申し上げます。これもひとえに創立当初より献身的に教育に対して情熱を燃やし、学生の指導に当たって来られた教職員の方々の並々ならぬ努力の賜物であると深く敬意を表します。

稲沢キャンパス開校1期生として情報処理科の門をくぐり30年。同窓会活動と共に母校の発展を見つめて参りました。現在では、歴史を重ねながら地域にしっかりと根を下ろし、4年制大学への改組転換、健康生活学部の新設、新校舎の建設などを通じて、学ぶ最良の舞台を整えて学生を迎え、社会に送り出していることに嬉しさを感じています。

稲友会は、設立して17年目を迎え、7,149名の会員を擁する団体として卒業生同士のネットワークを活かし、引き続き母校・名古屋文理大学の発展に寄与することで、社会との繋がりをより強固なものとしていく所存です。

創立60周年を迎え、学校法人滝川学園に在籍したことに誇りを持つと共に、今の自分を振り返りこれからの決意を新たにしていきたいと思っております。同窓会会員の皆様におかれましても、名古屋文理大学・名古屋文理短期大学を卒業した誇りと責任を持って、人生を歩んで頂きたいと思っております。

最後に、幾多の試練に耐え、輝かしい伝統を築いてこられた学校法人滝川学園が、これまで以上に自らの任務と使命に燃え、活躍されますよう祈念しますと共に、創立60周年を称え、今後の更なるご発展をお祈り申し上げます。

大学 名古屋文理海外研修を実施しました

平成28年9月7日～13日の7日間、短期大学部と大学の1・2年生36名と引率教員3名、総勢39名でケアンズ&シンガポール研修を実施しました。セントレアから直行便がないためシンガポール乗換えとなりましたが、世界屈指のハブ空港であるチャンギ空港での出入国手続きの他、チキンライスやナイトサファリなどの異文化体験もできました。ケアンズでは、オーストラリア伝統料理“ブッシュフード”、福祉施設の高齢者との交流、世界遺産「キュランダ」と「グレートバリアリーフ」など、毎日充実した時間を過ごす中で、学生達の自立的・規律的・積極的な行動は見事でした。本学の教育成果といえるでしょう。短い期間ではありましたが、たくさんの貴重な経験をしたこの研修が、世界に目を向け世界の様々な人々と交流していく力になることを願っています。



高齢者施設での折り紙交流



シンガポール ナイトサファリ

大学 FLOS館ラーニング commons の整備がすすむ

平成27年9月に稲沢キャンパスに竣工したFLOS館で、ラーニング commons の整備が進められています。2階のフード実習室と情報実習室の間、および3階のメディアラボ(撮影スタジオ)と大講義室FLOSホール間のスペースに、壁やテーブル上にiPadやPCの画面を投影したり、手の指や電子ペンで書き込みもできるインタラクティブプロジェクターが設置されました。また、人工知能ロボット Pepperや展示パネルなどとともに可動式の椅子や机も置かれて、学生たちや高大連携事業で本学を訪れる高校生などにも活用されています。



大学 健康栄養学科 玄米食についての研究を進めています

健康栄養学科の佐藤ゼミ(理化学研究室)では玄米食が皮脂の分泌に与える影響を調べています。玄米に含まれるビタミンなどの生理活性物質は精米により大部分が失われます。これまでに多くの論文が精白しない穀物はガンや生活習慣病などの予防に効果があることを報告しています。玄米の固有成分であるγ-オリザノールは皮膚に塗布すると、皮脂の分泌を促進し、肌の美白作用をもつことが実験で知られています。精製した成分の塗布や摂取ではなく、日常生活での玄米食が体に与える影響を調べるため、玄米食によって皮脂分泌がどのような影響をうけるのかを研究しています。



大学 健康栄養学科 防災料理のレシピ開発をしました

平成28年8月28日(日)、「平成28年度稲沢市総合防災訓練」にて、健康栄養学科石川ゼミ生6名が、災害時でも簡単に作れる防災料理の紹介をしました。防災料理とは災害発生から一段落した後に避難所等でカセットコンロと缶詰や乾物等の備蓄品で作ることを想定した料理です。当日は学生が考案した献立8品のうち2品を学生が説明しながら大野紀明前稲沢市長をはじめ参加された地域住民の方々に調理と試食をしていただきました。また、この取り組みはNHK「ほっとイブニング」でも紹介され、レシピについては稲沢市のホームページにも掲載されています。引き続き、災害時にも柔軟に対応することのできる管理栄養士の育成をしてまいります。



防災料理レシピ | http://www.city.inazawa.aichi.jp/ka_annai/anzen/bousairecipe/top.html

大学 健康栄養学科 「でらうまBISTRO下水道」で宮澤ゼミと大村知事がパフォーマンスをしました

平成28年7月26日～29日の4日間にわたりポートメッセ名古屋で開催された世界最大級の水の展示会「下水道展'16」に合わせて、下水道由来の資源を活用して行なごやめしとのコラボイベント「でらうまBISTRO下水道」がウインクあいち「つくね屋本舗」にて開催されました。その記者会見において、本学健康栄養学科宮澤ゼミの開発した「ふりふり手羽先」の紹介がされ、大村秀章愛知県知事、2016年度ミス日本「水の天使」の須藤櫻子様とともにふりふり手羽先のパフォーマンスを行いました。管理栄養士をめざす学生として、環境に配慮したエコレシピ提案から広く水環境について関心を持ってもらうようアピールをしました。



大学 フードビジネス学科 フードビジネス学科の学生が地産地消の情報誌「JAフレ秋冬号」の誌面作りに参加

フードビジネス学科の学生たちは、JA愛知中央会が発行している愛知の農産物直売所の情報誌について、大学生の観点を活かした誌面の作成支援をゼミ活動として行っています。今回学生たちが考えたテーマは「1日350グラム以上の野菜を摂取できる朝・昼・晩ごはんレシピ」。学生たちが企画立案から、レシピ考案・スタイリング、産直施設訪問、記事作成までを実際に担当しました。平成28年10月発行の「JAフレ秋冬号」に掲載されています。



大学 フードビジネス学科 河木ゼミ合宿 話題の「オレボ・ステーション」視察 「おとましい井」福井テレビに出演!

今年の河木ゼミは、平成28年9月8日・9日、福井と石川へ合宿に行きました。「カンブリア宮殿」登場の「オレボ・ステーション」のランチバイキングを体験し、大手CVSとの差別化や地産地消・手作り感の大切さを実感。越前漁港では、「未利用魚」を使った「おとましい井」運動取材。漁船に乗り、流通経路を追い、食材の有効活用の大切さを学びました。この光景が福井テレビに登場! 勿論、金沢・兼六園、ひがし茶屋街、近江町市場、山代温泉も満喫しました。



大学 情報メディア学科 学生が学会発表をしています

情報メディア学科では次のように、今年も学生が学会発表しています。
●後藤昌好(長谷川研4年生):「百人一首の札判別能力の年齢依存性—競技かるたの友札判別時間の計測—」日本人間工学会東海支部(10月、名古屋市) ●駒月麻颯(小橋研4年生):「リアクテブールの多様性—実践報告と拡張性—」情報文化学会中部支部(9月、名古屋市) ●御家雄一(吉田研27年度4年生)他:「e-Learningを用いた音感トレーニングの試行的実験」日本音響学会(3月、桐蔭横浜大) ●小寺鋼志(1年生)他:「CGソフトウェアの学習と応用」教育システム情報学会(2月、名城大)。また昨年にも、池本祐佳、御家雄一が情報文化学会、附柴賢司、大越喬陽、伊東順也らがモバイル学会で発表しています(学生敬称略)。いずれも学生が一般の研究者らと交流を深め高い評価を得ています。



大学 フードビジネス学科 和菓子作り体験のため、京都へ!!

平成28年9月16日(金)、蔵富ゼミの4年生は和菓子作り体験とCaféの調査研究のために京都へ行ってきました。和菓子作りは「京菓匠・甘春堂」で体験しました。季節感のある「黄昏の小路」「野菊」「白露」の上生菓子と「銀杏」の干菓子を教えていただきました。初めての体験でとても難しかったですが、和菓子職人である先生に教えてもらいながら作り上げることができました。職人さんの技術のすばらしさを体感した一日でした。



大学 情報メディア学科 iPad配布5年～メディア教育シンポジウム「ICTの教育活用と高大連携」関心集める

「ICTの教育活用と高大連携」をテーマに、未来の教育の在り方を考える「メディア教育シンポジウム」を、平成28年2月6日(土)、本学FLOSホールにて開催しました。景山学長の開会宣言、青山学院大学の伊藤一成氏によるICT活用教育についての基調講演に続いて、大学におけるアクティブラーニングや反転授業の実践と研究、および本学でも導入しているLMS(学習管理システム)WebClass(日本データバシフィック)の活用について、静岡産業大学と追手門学院大学から報告いただきました。その後、iPadを利用した教育で5年の実績を持つ本学の取り組みについて情報メディア学科から2件、健康栄養学科から1件の実践報告を行いました。内外の教育関係者100人あまりが参加し、タブレット端末の教育利用や教育における高大連携についての有意義な研究交流の場となりました。



大学 情報メディア学科 エンジニア育成にレコーディングスタジオが大活躍

FLOS館に新設されたレコーディングスタジオで、将来の音響エンジニア育成を目指して、プロのエンジニアによる実践的な教育が行われています。今年度よりスタートしたサウンド・プロジェクトのメンバーが、レコーディングエンジニア伊藤英彦氏による丁寧な指導を受けています。プロの歌手による本格的な収録やタレントによるナレーションの録音なども行い、実践の場として、学生がレコーディング機器のオペレーションに挑戦しています。



短大部 専門学校 2年連続ダブル受賞!!

昨年度に続き、2年連続で栄養士関係功労者に贈られる「厚生労働大臣表彰」と「愛知県知事表彰」を本学の教員が受賞しました。これは、食と栄養のプロとなる多数の卒業生を社会へ輩出してきたことが評価されたものであり、より一層教育の質を高めるべく取り組んでまいります。



平成27年度
厚生労働大臣表彰 佐藤生一先生(左)
愛知県知事表彰 濱田義和先生(右)



平成28年度
厚生労働大臣表彰 松田秀人先生(左)
愛知県知事表彰 加藤恵子先生(右)

短大部 製菓専攻教員が各種コンテストに入賞

愛知、三重、岐阜の洋菓子協会主催「第35回中部洋菓子技術コンテスト大会」において、本学大西梨沙助手がマジパン仕上げ部門銅賞を受賞しました。専門学校や洋菓子店など大変多くの参加者の中、細やかで丁寧な作品でした。さらには平成28年10月中旬より開催された岐阜県の鮎菓子たべよー博実行委員会(岐阜商工会議所、岐阜菓子工業会他)主催の「鮎菓子つくりコンテストレシピの部」において、本学櫻井瞳助教が「五平焼き鮎」を出品し金賞を受賞しました。この五平焼き鮎は岐阜県ならではの鮎菓子を作ろうとの思いから、名物である五平餅を使用した鮎菓子となっています。平成28年11月20日(日)には鮎菓子つくり博にて表彰式が行われ、金賞受賞作品300個を作成し来場者の方々に試食していただき、お子様から大人の方まで「おいしい」という声を直接聴くことができました。今後も教員、学生ともに学内外の各種コンテストへ積極的に参加してまいります。



専門学校 『ACTIVE CROSS』の設置

W館4Fに多目的スペースを新設し「ACTIVE CROSS」と命名いたしました。講義での使用以外に、学生が自由に活用することができ、自学自習や昼食時の団欒、また学生が積極的に議論やワーキングを行うことのできるアクティブラーニングにも利用できるよう設備の拡充に着手しました。学内LANに接続されたパソコンや自由に利用できる書籍などが設置されており、今後も設備の充実を図っていきます。なお、この施設の設置に関しては、名栄会からの多額の寄附金も充当させていただいており、諸先輩方のお力も大きく寄与しています。



短大部 食物栄養学科製菓専攻PV

製菓専攻のプロモーションビデオがYouTubeで公開されています。本学学生や職員も特別出演しています。是非御覧ください。



食物栄養学科製菓専攻PV | https://youtu.be/l9P25_JGtRk

短大部 高校生 スイーツコンテスト

平成28年6月5日(日)、「第二回 高校生スイーツコンテスト」が本学学内で行われました。前回は大きく上回る64チームの応募の中、本選に進んだ6チームが本学の製菓実習室で作品を作りました。グランプリはチーム名「みなみん」(豊橋南高校)作品タイトル「プリンロール」です。ひとりで試行錯誤を繰り返した作品で、シンプルですがプリンとカラメルの絶妙な甘さとちょうど良い固さのスポンジで、とても美味しかったです。他のケーキも負けず劣らずの力作でした。



専門学校 卓越した栄養士養成プログラムに関する特別支援金の給付を行いました

平成27年度から名古屋文理栄養士専門学校では、栄養士資格取得のうえ卒業後直ちに管理栄養士養成課程への編入学が決定しステップアップしていく学生に対し、特別支援金制度を設けております。昨年度は2名の学生が4年生大学の管理栄養士課程への編入が決まり、新たなチャレンジのため専門学校から巣立ちました。



専門学校 10年連続100%達成!!

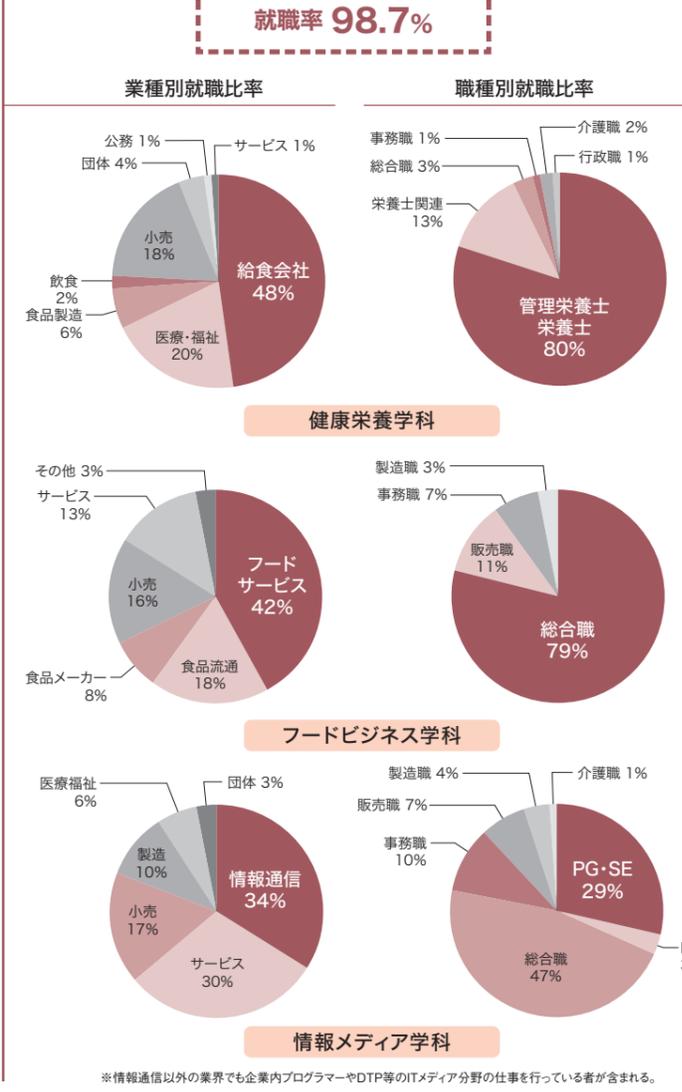
名古屋文理栄養士専門学校では、平成18年度より10年連続で就職希望者に対して就職率100%の快挙を達成いたしました。また、卒業生の8割以上が栄養士として就職し、地域に密着して活躍しています。これは、学生本人の努力もさることながら多くの諸先輩方を通じて学生の進路や就職が支えられているおかげであり、7,000人を超える卒業生たちが築き上げたネットワークは他にはない強みとなっています。今後とも、地域社会を支える栄養士として、医療、給食、福祉施設及び教育や食品メーカーの研究職など様々な方面へ卒業生を輩出していきます。



就職状況

(平成27年度)

大学

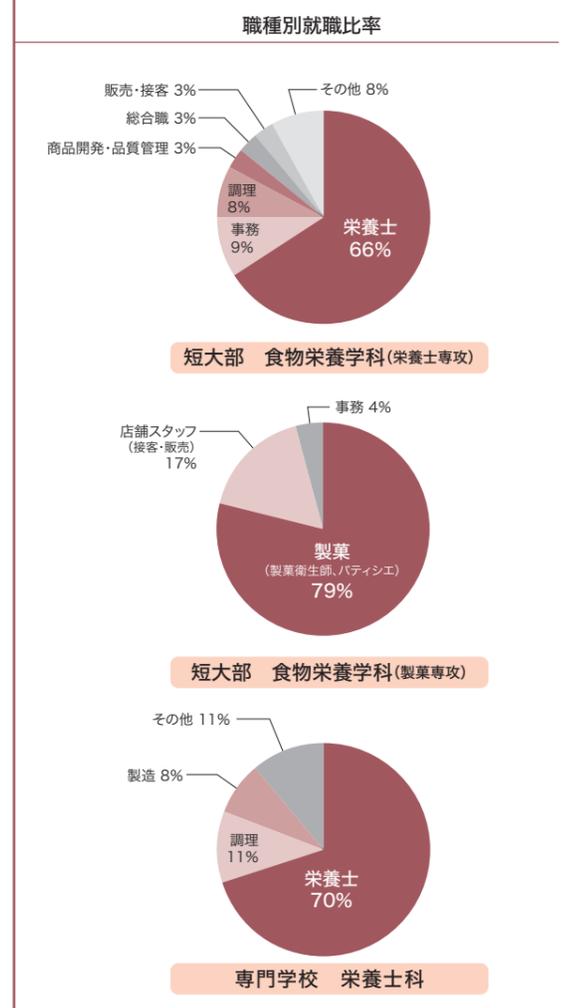


■卒業生の主な就職先

- 【健康生活学部 健康栄養学科】**
豊田厚生病院/岩田病院/誠広会/羽栗会/共愛会/紫水会/ステラリンク/日清医療食品/グリーンハウス/富士産業/エムサービス/日本ゼネラルフード/メーキュー/一富士フードサービス/名古屋エアケータリング/春日井製菓/スギ薬局/ウエルシア薬局/名古屋厚生会館第一保育園/いなべ市役所
- 【健康生活学部 フードビジネス学科】**
フジパングループ/正和製菓/ブロンコビリー/タニザワフーズ/物語コーポレーション/重光/ジェイグループホールディングス/ジェイアール東海バス/マリノ/フレッシュ/ドールコービー/ジェイアール東日本フードビジネス/ヴィ・ド・フランス/浅田屋伊兵衛商店/サザビーリーグアイピーカンパニー/浜木綿/タイハイ/丸協青果/パローホールディングス/フィールコーポレーション
- 【情報メディア学部 情報メディア学科】**
アイガ/日本電通/シンボ情報システム/ヒップ/ピコ・ナレッジ/日本テクシード/日本オフィス・オートメーション/システムサーバー/ツリーベル/テータ・デザイン/アイシン・インフォテックス/トランスコスモス/サンテック/アイ・シー・シー/光和設計/中村木材/名古屋木材/名古屋トヨペット/中部微生物研究所/沖縄県農業協同組合

短大部

就職率 100%



■卒業生の主な就職先

- 栄養士系学科【短大部/食物栄養学科栄養士専攻】** [専門学校/栄養士科]
福沢厚生病院/海南病院/豊田厚生病院/知多厚生病院/和合病院/好生館病院/小山田記念温泉病院/富田浜病院/中野胃腸病院/河村病院/共愛会/福寿園/長寿会/紫水会/羽栗会/犬山福祉会/カリオン福祉会/トモ/メグリアック/メフォス/グリーンハウス/エムサービス/LEOC/魚国総本社/デンソーパーラー/シダックスフードサービス/トーカイフーズ/日清医療食品/日本ゼネラルフード/フジ産業/メーキュー/富士産業/名糖産業/タカラ食品/ユーハイム/テリカスト/ミノヤランチサービス/ヤマダイ食品/大丸/浜乙女/三井餅店/松浦商店/清洲桜醸造/光明幼児園/マナ保育園/中野保育園/白雲幼児園/千首寺みれ保育園/和光保育園/岩田保育園
- 【短大部/食物栄養学科製菓専攻】**
名古屋ヒルトン/モンペリエ/カフェタナカ/サンジェルマン/洋菓子ポワール/ピエール・フレッシュ/お菓子職人おとべ/ボンバドゥル/重光/シャルドン/ドロキア・オラシタ/ア・ラ・カンパニー/フレッシュ/パティスリー・メロ/キャロル/ガトヴァレ/パティスリー モン・モ・ティス

同窓会から

名栄会

◆名栄会会員の皆様

日ごろは活発な社会活動に加え、名栄会活動にご支援、ご理解いただきお礼申し上げます。

新年度となり、正会員(新卒業者)201名を迎え、28年度名栄会総会も6月に実施し、今年度の活動を心新たにスタートいたしました。

入学生は準会員として211名入会いただきましたので、今後は学生生活の支援を行いながら名栄会の活動内容のPRに努めます。

昨年度は、会員の結束向上が見られることを願って、同期会、クラブOG・OB会等の助成内容を検討しなおし、ホームページにアップしています。ご活用をお待ちしています。理事会は年6回実施し、名栄会の活性化のために活動していただいております。

名栄会活動は、会員の名簿管理、同期会、クラブ活動者支援、母校在学者(準会員)の課外活動の支援などは従来通り理事会で検討し、会員皆様のご意見を頂きながら、より充実できるよう実施してまいります。

名栄会創設60周年記念事業については、ワーキンググループ(企画委員会活動)を立ち上げ実施内容の検討を具体化させてまいります。

会員各位におかれましては、同期会等の開催時やホームページなどから積極的にご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。

会長としては母校との協調に加え、名栄会事務業務の透明化・合理化のために、各種書類の整備、理事会の充実及び会員各位との結束に努力してまいります。

会員の皆様におかれましては忌憚のないご意見と、これまで以上のご支援・ご協力をお願いいたします。

◆名栄祭時の同窓会ブース

10月29日(土)の名栄祭において同窓会ブースを出展しました。当日は多数の卒業生や在学学生、近隣の方々にもお越しいただき盛況でした。また今年度より同窓生の集う専用スペースも設け皆さん久しぶりの再会に話を花を咲かせていました。



◆同窓会会長賞(学位記授与式にて授与)

平成27年度受賞者

食物栄養学科栄養士専攻

小久保 綾さん(エムサービスジャパン(株))

栄養士専門学校

都築 明日香さん(日清医療食品(株))



◆名栄会発足60周年記念行事

平成29年度末に名栄会は発足60年を迎えます。それに伴い、平成30年度に記念行事を開催予定です。詳細については名栄会HPにて公表します。

◆次期名栄会理事の改選について

平成29年度は法人定款により名栄会理事・監事の改選期(任期は理事2年、監事4年)となります。主婦の方はもちろん、社会人の方でも活動できます。皆様のお力で名栄会を盛り立てていきませんか。ご興味のある方は名栄会事務局までご連絡をお願いいたします。

一般社団法人 名古屋文理大学短期大学部
名栄会Webサイト

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/COL/meiei/>

稲友会



平成28年度

卒業生に対する進学・学会参加への助成 助成者からのメッセージ

稲友会は、今後の卒業生の活躍を応援しています。そこで、開発・研究職として働く卒業生の萌芽的な活動への奨励として、大学院進学・学会参加に対して、次のように助成を行います。

助成件数：2件
助成金額：学会所属の場合は1件あたり3万円、
大学院進学の場合は1件あたり7万円

助成対象：名古屋文理大学卒業生のうち卒業後7年以内で、大学院在学中の者もしくは学術学会の会員

なお、助成金授与式を平成28年10月23日(日)の定例総会内で行いましたので、ご報告とともに助成者からのメッセージをお伝えします。

板橋 未奈さん

平成22年度卒 健康生活学部健康栄養学科
◎日本栄養改善学会



私は、名古屋文理栄養士専門学校で助手をしています。入職1年目の際、生化学実験の講義を受け持ったのをきっかけに、生化学実験の教育効果について研究を始めました。生化学を苦手科目とする学生が多いため、講義で学んだ内容を自身の目で確認し、実験を通してさらに理解向上をさせる授業形式・実験内容になるよう日々研究しています。

また、教員として、栄養士として、さらに知識を向上させるために日本栄養改善学会に入会しました。学会では、他大学・他業種の方の研究から栄養士として必要な知識を学ぶことができ、とても勉強になります。そして昨年は、入会後初となる学会発表を行いました。今後も継続して研究成果が発表できるよう取り組んでいきます。

この度の助成金は、今後の学会参加費として使用させていただきます。稲友会の皆様、温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

御家 雄一さん

平成27年度卒 情報メディア学部 情報メディア学科
進学先：青山学院大学大学院 社会情報学研究所
◎日本音響学会(学生会員) 情報処理学会(EC研究会 学生会員)



情報メディア学部在籍時にはCGの表現研究をし、プロジェクションマッピングを主体としたデジタルエンターテインメント作品を発表しました。また、ゼミ活動として音響研究も行っていました。

現在は青山学院大学大学院社会情報学研究所に在籍しています。そこでは創造性と積極性を引き出す「プログラミング教育」に出会いました。それはプログラミング教育の問題点である文法習得に時間を割くため、普遍的に求められる「プログラミング的思考」の習得を疎かにすることを解決する教育法です。

文部科学省は2020年から小学校でのプログラミング教育必修化検討を発表しました。今必要とされる“適切なプログラミング教育”と音響研究の1つのツールである“サウンドプログラミング”。私はこれらを融合し「文法習得に集中しないサウンドプログラミング」について研究をしています。

今後は、名古屋文理大学と共同研究をする予定です。これからもお世話になります。

平成29年度以降も継続事業として「卒業生に対する進学・学会参加への助成」を行っていきます。助成対象者の方は同窓会Webサイトより奮ってご応募ください。

※今年度の上記助成についての応募受付は終了しました。次年度につきましては詳細が決まり次第、以下の同窓会Webサイト及びB-netブログへ掲載していきますので随時ご確認ください。(4月下旬ごろ掲載予定)

名古屋文理大学同窓会・稲友会Webサイト

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/classmate/index.html>

インフォメーション

【科学研究費助成事業・奨学寄附金・委託研究費等の実績一覧】 *平成27・28年度は以下の研究費を受け入れました。

	制度名	件数	金額
平成27年度	科学研究費助成事業	8件	4,368,000
	奨学寄附金	1件	800,000
	委託研究費	2件	590,000

	制度名	件数	金額
平成28年度	科学研究費助成事業	10件	3,919,500
	奨学寄附金	1件	800,000

※平成28年度は10月31日現在の状況

【平成27年度 財務状況・事業報告について】

学校法人 滝川学園ホームページの財務状況をご覧ください。<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/gakuen/finance.html>

【寄附金のお願い】

本学は「世界から信頼される若人を育成する」との立学の精神の下、高等教育機関として社会のニーズに応えるべく教育体制を充実させるとともに教育研究施設等の整備に努めております。学生がこれまでと同様の教育研究を享受するために更なる努力が必要です。つきましては、卒業生の方をはじめ幅広く社会各層の方々からの任意によるご寄附を賜りますようお願い申し上げます。

なお、「特別寄附金」としてすすめておりました名古屋文理大学稲沢キャンパス新校舎建設事業に対する募金活動につきましては、多くの皆様から多額のご支援を賜りました。厚く御礼申し上げます。

<名古屋文理大学稲沢キャンパス新校舎建設事業募金> 募金総額 ￥22,651,000—

FLOSホールをはじめ、メディアラボやスタジオ、情報実習室やフード実習室といった教室、学生食堂や売店など学生憩いの場を備えたFLOS館を建設することができ、大学に新たな教育施設が誕生しました。

名古屋文理大学HPトップページからバーチャルキャンパスにて外観、各教室を見ることが出来ます。

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/>

また、「特別寄附金」として学園創立60周年事業募金(募集期間：平成27年12月7日～平成28年11月30日)を募集しました。在学生、保護者の方をはじめ教職員の皆様からもご支援を賜りました。厚く御礼申し上げます。

【寄附者ご芳名】

平成27年8月1日～平成28年10月31日までの寄附者ご芳名を掲載させていただくとともに、ご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

多くの方よりご支援賜り、ありがとうございました。

●企業・団体

稲沢商工会議所/教育産業(株)/国際学院埼玉短期大学/総合電気通信(株)/(株)ナカシマ/フジパングループ本社(株)/丸善雄松堂(株)/丸徳産業(株)

●個人寄附者

青山幸春/浅野和成/石原秀雄/市川和昭/岩田恵子/大栗和男/奥村純市/押谷久義/垣内巧己/景山節/加藤久仁夫/蟹澤正明/神谷稔夫/北川伸/北瀬和治/栗田茂/栗原寿男/小島康嗣/後藤千穂/小林成隆/齊藤嘉代/坂田修/柴田貴子/鈴木敬則/関富子/祖父江直/高久達也/瀧祐子/滝川桂子/滝川静乃/瀧田正樹/竹中晃子/武部宏/田中明子/玉井美江/手塚修文/苗島実/中原秀章/仲家佑和子/野々部知加/野呂雅也/長谷川孝子/長谷川勉/早川良子/林周作/速水彩乃/平林陽子/藤原康洋/松原千佳/宮嶋伸子/宮地忍/村上人光/百瀬文隆/森梅代/森千賀子/森山義春/安田智彦/山内憲/山崎千尋/山田弥一/山田ゆかり/吉田洋/芳本信子/渡部宏臣

(敬称略、順不同、公表を了承された方々のみ掲載)

寄附金については、同封の「一般寄附金募集要項」をご覧くださいの上、ご支援賜りますよう、よろしく願い申し上げます。また、ご不明な点については下記までお尋ねください。

・問い合わせ先

〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365(名古屋文理大学) 学校法人 滝川学園 事務局 経理課 寄附金係 TEL 0587-23-2400(代表)



Professor File

ぷろ・ふあいる

“本学教員の素顔をお伝えます”

第8回

1979年3月中京大学体育学部卒業。同年4月、名古屋栄養短期大学(現名古屋文理大学短期大学部)に助手として就職。現在、短期大学部教授。社団法人全国体育連合東海地区評議員、愛知県私立短大体育研究協議会副会長。研究テーマ:高齢者の健康、抗酸化物質がアスリートの疲労に及ぼす影響。著書「シニアからの健康づくり」。担当科目:スポーツ実技、運動生理学、スポーツ栄養論。



短期大学部では長年の食育中心の地域活動が認められ、平成26年より名古屋市との連携講座「高齢者講座」が始まりました。これは本学「食と栄養研究所」のプロジェクト研究にも採用され、多くの短大部教員の研究にも結びついており、そのコーディネータとして活動しています。高齢者とのふれあいで健康の大切さを感じている今日この頃です。また学生の一言「走りたい」に触発され6年程前からマラソンを始めました。今では自らがスポーツ栄養を実践しています。各大会に、先生方、卒業生、在学生らと参加して完走を目標に楽しんでいます。時には海外マラソンに出かけることも。月1回のペースで参加していますので偶然にも出会うことがありましたら応援よろしく願います。一緒に走りたい方、ご一報ください。一緒に走りましょう。

食と栄養研究所講演会開催

「名古屋文理大学 食と栄養研究所」は地域に根ざした大学として、地域社会の健康増進に貢献できるような食・栄養・健康に分野を絞り込んだ研究を実施しております。「第4回 食と栄養研究所講演会」として、研究成果の一部を発表させていただくとともに、アンチエイジングに有効な食事、栄養、運動について専門の先生の講演を次の通り予定しております。参加費は無料となっております。関心のある方はぜひご参加ください。

日程	平成29年2月10日(金)	時間	午後1時30分から午後4時30分
会場	名古屋市西文化小劇場(西区花の木二丁目)		
問い合わせ先	名古屋文理大学短期大学部 学務課 052-521-2251(代)		

1 アンチエイジングの食と運動

岩尾 聡志氏(藤田保健衛生大学教授)

2 名古屋市の取り組み

健康なごやプラン21の紹介(仮題)
木下 節子氏(名古屋市西保健所長)

3 食と栄養研究所プロジェクト研究報告

加藤 恵子氏(本学教授)

● キャリア支援センターNEWS ●

【卒業生の就職・転職支援について】

キャリア支援センターでは、卒業生に対して求人情報の提供および相談対応を行っています。今後も卒業生向け就職支援を強化していきます。

1 キャリアカウンセリング(一次面談)

・初回来課時に、「卒業生求職登録票」の記入と30分を目安とした面談を行います。
・希望の条件や仕事内容等の確認と、今後のサポートについての紹介・相談を行います。

2 履歴書・職務経歴書の添削、アドバイス

・キャリア支援センターに来課いただき、30分を目安に添削、アドバイスを行います。

3 面接対策講座、マナー研修等の受講案内

・必要に応じて、ヤング・ジョブ・あいちが実施する面接対策講座、マナー研修等についてご案内します。

4 大学に届いた求人情報の提供

・「名古屋文理大学就職支援システム(J-NET:求人票を閲覧できるWEBシステム)」のID(既卒向け)を発行します。

5 職業紹介

・ヤング・ジョブ・あいちからの求人情報の紹介とともに、本学独自の非公開求人をご案内します。

■就職支援の対象

名古屋文理大学・名古屋文理大学短期大学部・名古屋文理栄養士専門学校卒業生の方を支援の対象とします。希望者は「卒業生求職登録票」の用紙に必要事項を記入し登録してください。

■卒業生向け支援による主な就職・転職先

国立長寿医療研究センター/国立病院機構 名古屋医療センター/国立病院機構 三重病院/国立病院機構 三重中央医療センター/国立病院機構 鈴鹿病院/国立病院機構 静岡医療センター/国立病院機構 天竜病院/国立病院機構 北陸病院/名古屋市立西部医療センター/名古屋ハートセンター/岐阜ハートセンター/豊橋ハートセンター/鶴岡リハビリテーション病院/佐藤病院/須磨浦病院/おかさき福祉会/海部市教育委員会(有期雇用)/豊田みのり福祉会/徳風保育園/中野保育園/正木幼児園/学協/ジェイク/ニッコトラスト/魚国総本社名古屋本部/日清医療食品/日本ゼネラルフード/富士産業/メフォス/リクシル/名古屋文理栄養士専門学校/柳原整形外科/愛知県(有期雇用)/名古屋市(有期雇用) 他

MY DREAM SHOP

【曾木のベーカリー Kattan】

岐阜県土岐市曾木町1704-7
TEL: 0572-52-2636
営業時間/9:00~17:00
定休日/木曜日、第1・3金曜日
<http://kattan.info>



保科 雪彦さん

名古屋文理大学短期大学部
食物栄養学科 平成21年度卒

パンを購入されたお客様で
「ぶんりを見た」と伝えるとドリンク1杯無料!
(平成29年3月末日まで)

「毎日食べても飽きない美味しさ」をコンセプトに、岐阜県土岐市の山里で曾木のベーカリー「Kattan(カッタン)」を営む保科さん。イトインスペースや山里を望むウッドデッキがあり、地元の人たちの憩いの場となっています。また、近隣には温泉施設があり、週末にはプチ旅行を兼ねて名古屋や豊田から訪れるお客様もいるなど、昨年5月のオープンから多くのお客様でにぎわっています。

自慢は食パン。独自の発酵種を3日間かけていねいに手づくりするため、日に60本が限度。毎日完売の人気商品です。子どもの頃から食パンが好きで、短大時代の恩師にも相談しながら試作を重ね、オリジナルの食パンを研究。納得できる食パンができたことで、店を持つ自信にもつながったと言います。食物栄養学科を卒業後、有名店で修業し、専門学校の教職員などを経て、卒業から7年で念願のベーカリーをオープンさせた保科さん。今後は人を育てることに取り組み、パン業界の発展のためにも尽くしたいと目標を語ってくださいました。



スタッフとして保科さんを支える奥様とともに。



店名と同じ、娘さんの名前が由来の食パン「Kattan」。

編集後記

今年も残りわずかとなり、新たな年がすぐそこまで来ています。昨年の今頃は大学生として、文理で楽しく、そして充実した毎日を送っていました。

現在、社会人として約9ヶ月が過ぎ、学生や先生方から信頼される大学職員となれるよう、日々努力しています。

大切な思い出が詰まったこの大学のさらなる発展に、微力ではありますが貢献していきたいと思っています。

ぶんり送付先住所に変更がある場合、下記までご連絡ください

大学に在学している方	TEL:0587-23-2400(代)	短大・専門学校に在学している方	TEL:052-521-2251(代)
大学を卒業の方	TEL:0587-23-2400(代)	短大・専門学校を卒業の方	TEL:052-521-2251(代)

ぶんり送付停止を希望される場合は上記ウェブページからメールでご連絡いただくか、電話にてご連絡ください。

募集します!

みなさんからのメッセージ(リクエストや感想、卒業生同士の交流の呼びかけや近況報告など)をお寄せください。

あて先 ぶんり編集室 E-mail:b-hensyu@nagoya-bunri.ac.jp/お便り:〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365 名古屋文理大学 ぶんり編集室